

4年生 カヌー体験・水質調査

平成30年6月21日（木）
9月7日（金）

川に関心を持つために、まずカヌー体験を行いました。楽しみながらも水を身近に感じることで、子ども達は、水の汚れや臭いに気付いていきました。同時に、GTの方から「水辺の生き物」「地域の遺産」についてお話をさせていただき、子ども達は川や地域についての知識を深めていきました。



オールの使い方を習い、いざ諏訪川へ。初めての経験で子ども達は大喜び。水を身近に感じながら、カヌーを上手に漕いでいました。

水辺の生き物について、しっかり学ぶことができました。同じ川でも水質によって生きている生物が違ってくるのことがわかりました。

クイズ形式で、地域の遺産や伝統・文化について考えていきました。初めて知ることも多く、知識を増やすことができました。

川の汚れについて関心を持った子ども達は、GTの方と一緒に川の水質検査を行いました。川の上流・中流・下流によって水質が異なること、川を汚している原因の一番は生活排水であること、川のゴールは海であることを学びました。その後、自分たちに何が出来るかを考え、汚れを出さない水の使い方をしたり、ポスターを描いて身近な人に呼びかけを行ったりしました。



まずは、川の水の様子を目視で観察。濁っていることがよくわかりました。臭いもあり、きれいな川とは言えませんでした。

GTの柿川先生に教えていただきながら、各グループでバックテストを行いました。色が一気に変わり驚きました。

汚れの指標となる色見本とバックテストの水の色を比べ、汚れを調べました。川の上流・中流・下流で汚れ方が違う事がはっきりとわかりました。